

Gikai

第127号

2025年7月25日

発行

Kamifurano

かみふるの 議会だより

P.2~3 特集

次回選挙から議員定数が
12名に！

P.4 定例会・臨時会

住まいの改修を後押し
補助金を増額！ など

P.5 お知らせ

議会中継はじまる！

P.6~7 特集 広域連合議会

異例！修正動議提出へ

P.8~17 一般質問

止まらぬ物価上昇
町の支援は十分か？

供養のかたちに変化

今、合葬墓が必要では？ など



今号の表紙写真

議会中継本格運用開始

議会が見える。意識が変わる。

多い？少ない？議員定数2名削減！

6月定例会において、11名の議員から議員定数を現在の14名から12名へとする条例の一部改正案が提出され賛成多数で可決しました。

改正案提案までの流れ

- これまで議員定数を巡っては、平成20年に4減とする条例改正が可決し定数14人に。平成27年には1減とする案が町議会に提案されたが、反対多数で否決されていた。
- 人口減少や他自治体での定数見直しを受け、昨年6月に議長を除く町議13名でつくる「議員定数・議員報酬調査特別委員会」を設置。
- 昨年10月に住民アンケートを行った結果、回答259件のうち、現在の議員定数は「多い」と答えた人は203件と8割に上った。
- 「議員定数・議員報酬調査特別委員会」における8回に及ぶ協議の結果、結論は出ず。
- 議員の中でも意見が分かれ、議員定数の削減を考える議員10名により何人減らすか協議を始めた。
- 4名から2名減の案が出され、協議の結果、現行の議員定数14名から2名を削減して「12名」とする意見にまとまり議員11人が条例改正案を提出。

賛成11、反対1で可決され次回選挙の年は定数が12名となった

提案理由

令和6年6月13日の第2回定例町議会で設置された「議員定数・議員報酬調査特別委員会」は、8回の審議を経て、議員定数に明確な基準がないことから、今後も議論が必要とする報告を行った。その後、議員10名による協議では、最大4名削減案も含め検討し、全国的な人口減少を背景に議会機能の強化や議員の質向上も論点となった。町民アンケートでは約80%が「議員が多い」と回答し、定数削減の要因となる一方、議会活動の情報発信不足も課題とされた。定数削減による住民の意見が十分に反映されない懸念もあるが、議員の積極的な活動で補えると考えられた。最終的に町民の意見や地域の現状を踏まえ、現行14名から2名減の「12名」とする発議案を提出することとなった。この削減により、議会運営の効率化、財政健全化、意思決定の迅速化、議員責任の明確化が期待される。

まちの声



アート工房菅原
すがわらはるいち
菅原 春一さん

次の選挙から定数が2名減ということですが、議員の報酬は上がらないのに仕事が増えるのはいかがなものでしょうか。私は減らす必要はないと思っていたので、大幅な削減とはならず安心しましたが、これから議員になろうとする人は大変でしょうね。



専門学生
ふじおか りょうた
藤岡 玲太さん

人口が減ってる中、議員の人数が少なくなるのは当然だと思います。上富良野町に住んでいて、町が良くなっていると実感がありませんので、もっと議員を減らした方が町のお金のことも考えたら良いのかも考えてしまいます。もっと議員さんが何をやってるのか届けて欲しいです。

提案に対する主な質疑

問

多様な声を届けるため
現状維持が最善

米澤議員 提案者の趣旨説明の中で述べたとおり、この特別委員会では、結論が出なかったという状況になっていた。その背景には、住民の意見を反映する定数が必要であるという意見の中、結論として結果が出なかったものだと思う。定数削減の要因として、引き続き住民の声が届くような、議会活動が必要になっていると述べていた。

多様性のある議会、また行政への政策提案が必要であるが、議員削減は必要だという矛盾に満ちた趣旨説明であるが、私は、極端な人口減少がない状況の中で現状維持でも十分良いのではないかと思うが何う。

答

同じ考えではあるが
今決断すべき時である

提案者 特別委員会としても結論は出なかったが、今、多様性の中で声を議会に届ける。極端な人口減少にもない中での削減案というのは、いかがなものかということについては、私も議員と同じ考えを持っている。

問

定数削減よりも求められる
資質向上と人材確保

米澤議員 人口減少や財政改善を理由に定数削減を求める声がある一方で、議員の資質への課題も大きい。アンケートでは、議員活動が住民に伝わっていないことや、議員の資質向上を求める意見も寄せられている。これまでも議会懇談会などを通じて町民や関係団体と意見交換を重ね、議会の役割や将来像の共有に努めてきた。このような取り組みこそが定数削減の有無に関わらず重要であり、単純に定数を減らせば解決する問題ではないと考えるが。

答

定数削減と議員の資質向上
そして議会の見える化へ

提案者 議員の資質への疑問の声は、今年3月の特別委員会報告でも示され「議会の活動や議員個々の動きがわからない」との意見が町民から寄せられた。その中で、定数を8名に減らす意見や、監視機能の強化を理由に14名以上に増やすべきという意見もあった。議員の活動報告の基本は議会だよりであり、今後さらに広報を強化し、町民に議会や議員の取り組みをしっかりと伝えていくべきだと考えている。

問

多様な声を届けるために
定数削減は本当に必要か

米澤議員 議員定数が減れば立候補のハードルが上がリ、組織力や地盤の強い人が多数を占める懸念がある。若者・女性・多様な意見を持つ人が参加しやすくなるためにも、一定の定数は必要だ。定数をさらに減らせば1人あたりの負担も増え、住民の声が反映しづらくなる恐れがある。根本的な課題は議員の資質向上と、なり手不足への対応であり、議会が住民との対話や情報発信を重ね、議会活動への理解を深めることこそ必要で、定数削減は解決策ではないと訴えたい。

答

定数に左右されない
立候補の意志

提案者 定数削減で当選のハードルは上がるが、その分議員の質も向上すると考える。若者や組織・地盤のない人には不利な面もあるが、町をよくしたいという思いで立候補し、多様な声を議会に届けることが重要。定数減で一人あたりの負担は増えるが、質の向上や広報の充実、住民への発信が求められる。議会活動の見える化も必要で、視察研修・モニター制度・住民との対話の場づくりを進め、議会活性化計画のもと取り組みべきと考えている。

リフォーム需要増に対応
住宅リフォーム補助金追加 **600万円**

定例会



議会 Pickup

町民が安心して住み続けられる住環境を整備すると共に、地球温暖化対策の推進、地域経済の活性化を目的として当初予算に980万円を計上していましたが、より多くの申請に対応するための補正予算が可決されました。

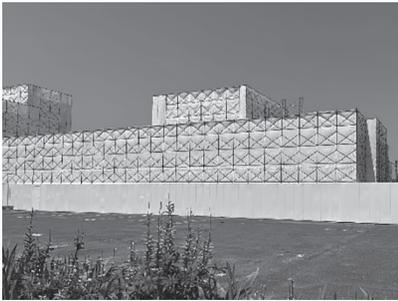
定例会・臨時会の概要

町議会では、第4回臨時会が5月1日、第2回定例会が6月18日から19日までの2日間の会期で開かれました。臨時会では、工事請負契約の議案を中心として可決されました。

定例会では、一般質問は9名の議員が行い、20項目にわたって、議論が交わされました。議会からは、1件の条例一部改正案と意見書が提出されました。補正予算、条例改正なども審議され、すべて原案のとおり可決されました。

臨時会

あらゆる安全確保のために
アスベスト除去工事費追加 **約7,000万円**



解体される旧町立病院

新病院が開院し、現在は旧町立病院を解体していますが、アスベスト除去工事費変更に伴う約7千万円の補正予算が可決されました。

アスベストを適切に封じ込め、飛散防止対策を講じることで、作業員や周辺住民の健康を守ることを目的としています。

意見書を国に提出しました

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

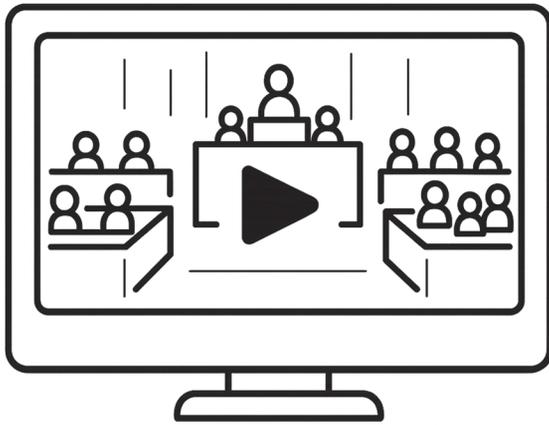
本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会の形成の実現に向けた森・林づくりを担う多様な人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化を求める。

富良野広域連合議会

第1回臨時会

令和7年第1回富良野広域連合議会臨時会が、6月13日に開催され、議案6件（補正予算案1件、財産の取得3件、人事案1件、その他1件）、報告2件が原案どおり可決されたほか、中富良野町議会議員の改選により欠員となっていた常任委員会委員および議会運営委員会委員の補充選任が行われました。

なお、補正予算においては、デジタル通信機器の整備のための通信指令台整備と合わせて、上富良野町に設置されている消防本部を富良野市へ移転することが盛り込まれていたことから、上富良野町より選出された議員及び他町村議員2名の連名によって、補正予算に対する修正動議が提出され、審議の結果賛成6、反対8で修正動議は否決されました。



使い方



QRコードをスマホで読み取る

または



パソコン等でYouTube「上富良野町議会」と検索

議場に行きたくても行けない…
そんな時でも大丈夫!! いつでもどこでも議会が見れる

上富良野町議会の思い

上富良野町議会は「より身近で開かれた議会」をテーマに議会活性化計画を進めてきました。その中でもこれまで多くの町民から要望の強かった議会のインターネット配信に向け調査や試行を繰り返してきました。より質の高い議会中継のためには、機材や技術等、課題はまだありますが、いち早く多くの町民に議会を見て感じて興味を持ってもらいたく、この度令和7年第2回定例会から議会の生配信、アーカイブ配信を実現しました。議会を見に行きたくてもいけない、興味はあるけど行きづらいという方や議会ってどんなことをやっているかよくわからない、あまり興味がないといった方も気軽に見ていただき、少しでも議会に興味を持ち、まちづくりに参加していただければと思います。

こんな時に便利!

- ・ 議会の雰囲気を知りたい
- ・ 町の政策や議員の意見をチェック
- ・ 議場に行けない

特集 広域連合議会

消防本部が富良野市へ移転!?

我が町の防災体制は？

5市町村が自立しながら 連携を図る道へ

富良野圏域5市町村は平成20年に消防、公共串内牧場、学校給食、衛生センター（し尿生ごみ処理）の事業を広域で行う富良野広域連合を発足し、連合長に富良野市長、副連合長に上富良野町長、中富良野町長、南富良野町長、占冠村長が就任しました。また5市町村の議会からそれぞれ3名を選出し、15名の議員による広域連合議会が設置されました。

災害リスクを考慮し 消防本部を上富良野に設置

平成21年、富良野圏域5市町村が広域連合消防として1つの消防に再編された際、消防本部の設置場所について協議されました。

活火山十勝岳を有し、陸上自衛隊駐屯地のある上富良野町に本部があることが望ましいことから、広域連合の発足に合わせて消防本部は上富良野消防署に置かれました。

災害・事故対応力の 更なる強化へ

令和10年のデジタル無線の更新に合わせて、各自治体の通信指令台を一元化することは令和5年から消防内部で協議され、さらに令和6年の正副連合長会議において、通信指令台は一元化されることが望ましいとの結論に至りました。

通常、消防本部は地理的中心に設置することが望ましいとされており、富良野消防署を改修して一元化された通信指令台を設置するとともに、本部を上富良野町から富良野市に移転することも視野に入れながら検討が進められていました。

現場の声は理解できるが…

昨年11月から本年1月にかけて、消防本部から本部の富良野移転について5市町村長に説明があり、5月29日の正副連合長会議において本部を富良野に移転する案が正式に示され、その場で同意されました。それにより6月13日に開かれ

た広域連合議会臨時会では、富良野消防署に通信指令台を設置するための富良野消防庁舎増築基本設計委託料など583万円の補正予算が上程されましたが、令和7年度の執行方針に示されていないこと、今後の人員配置や各自治体の負担割合が不明確であることを主な理由として、富良野消防庁舎増築基本設計委託料500万円を削除する修正動議が上富良野町選出議員外2名から提出されました。



富良野広域連合消防本部が置かれている上富良野消防署庁舎

ひとくち
メモ

通信指令台とは…消防や警察などの緊急通報を受け付け、現場への出動指示や関係機関への連絡を行うための設備です。内容の聞き取り、場所の特定、車両への出動指示、無線による情報伝達などを行います。

広域連合議会始まって以来 初の補正予算修正動議提出へ！

●補正予算の概要

- ・歳出…消防費の中の消防施設費は、富良野施設費の富良野施設管理経費から、通信指令体制の整備などに伴う富良野消防庁舎の現況調査及び、増築に係る基本設計委託料として、また、南富良野施設費の南富良野施設管理費で、消防庁舎玄関風除室を修繕する施設修繕料、合わせて583万6千円を追加。
- ・歳入…分担金及び負担金の中で、富良野市負担金500万円、雑入として建物災害共済金83万6千円の追加。

●提案理由

修正案を提出した理由としては、広域連合議会に内容の説明がなく、令和7年度の行政執行方針に無いどころか、富良野広域連合第4次広域計画にも書かれていない事業に対し、補正予算での対応は議会軽視である。消防本部移転は唐突であり、拙速である。今後の運営体制等の計画も示されないことから、一部修正案を提出した。

●提案に対する主な質疑

連合議員 消防本部移転を認めないという動議ではなく、慎重に議論を進めるための動議という理解で良いか。また、デジタル指令台を導入するにあたり、本部機能の増設なり、そういった部分については必要になると思うが、再度、協議をなされるという理解の上でと私は捉えているが。

提案者 正副連合長の中で、執行者として方向性を決めて、議会で諮るべきであると考えている。今後の話し合いについては、正副連合長において、その話し合いの過程や状況を議会にしっかりと情報提供をいただいた上で、各所管の委員会もしくは全員協議会で、慎重な審議がなされるべきものと考えている。

連合議員 今回の修正動議提出に至るまでの経緯で、議会が軽視されているのではないかと考えられている部分もあるが、どのような説明をもって、十分な話し合いがなされたと考えるのか。

提案者 しっかりと順序を踏んで提案されたものを我々は議決するべきだと考える。執行者にも説明責任があるように、議会議員にも有権者に対する説明責任が発生する。それぞれの地域から圏域を代表して選ばれている議員とすれば、その説明責任

がしっかりと果たされることが望ましい。いたずらに延ばすとか、感情的にどうこういうよりも、まずは、広域連合発足の本質を見直すこと。そして議会への上程の在り方は、しっかりとした手順を踏んでいただかなくてはいいけない。十分な議論がなされた後に、我々が責任を持ってそれを判断するべきだと考える。

連合議員 上富良野消防本部の場所は、十勝岳火山災害による泥流が流れてくる場所にあるが、その場所に消防本部があつて良いのか。

提案者 確かに、大規模泥流が発生した場合、被害を受ける可能性がある。ただ、そう考えたときには十勝岳泥流災害だけではなく、富良野市において直下型の活断層の地震があった場合、被害を受けないかといえ、必ずしもそうではないと思う。恐らくどこに消防本部を置いても、大きな災害の発生というのは否めないと考える。

上富良野のここが聞きたい!!

町民の思いを届ける 60分



金子 益三 議員

- ① 機構改革の進捗状況は
- ② 私立高校無償化による上富良野高校への支援拡充は行わないか



湯川 千悦子 議員

- ① 止まらない物価高騰に対する町民への生活支援策を行わないのか
- ② 我が町の宿泊税への取り組みは



茶谷 朋弘 議員

- ① 上富良野町公式 SNS 等の活用による情報発信や利便性向上について
- ② 給食センターの運営と給食費無償化について



佐藤 大輔 議員

- ① 副町長の2名体制について
- ② 合葬墓の設置について



荒生 博一 議員

- ① 人口減少社会下でのまちづくりについて
- ② 児童の健康と心の負担を軽減するための解決策について



北條 隆男 議員

- ① 道の駅について



小林 啓太 議員

- ① カムローズ市との友好都市提携に関して



林 敬永 議員

- ① 少子高齢化時代の農業支援策について
- ② 定年退職自衛官の再雇用促進について

ひとくちメモ

- ・一般質問のページは質問議員本人により編集されています。
- ・クールビズ実施期間中につきネクタイ着用の義務付けはされていません。



米澤 義英 議員

- ① 物価高騰対策について
- ② 補聴器購入補助について
- ③ 介護人材確保について
- ④ 町独自の賃上げ対策について
- ⑤ 学校給食無償化について
- ⑥ 小学校におけるスクールバンドについて

議会を傍聴してみませんか？

6月定例会の傍聴者は 31人

次の定例会の開会予定は…

9月18日(木)、19日(金)です

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

物価高騰

物価高騰に対する町民への生活支援を行わないか

町長一限られた財源を有効に活用できるよう取り組む

つぶやき…

コメ問題や、光熱費高騰、食料品などの値上がりにより、素早い対応を望む！



湯川 千悦子 議員

湯川議員 物価高騰に歯止めがかからない昨今、

主食である米の価格の高止まり、ライフラインである各種料金の値上がり、円高やトランプ関税の影響などにより、世界経済も混乱している状況下にある。町民の生活は一段と厳しさが増し、負担は大きくなるばかりだ。今後、町民に対しての生活支援を行うのか伺う。

齊藤町長 現在、光熱費

にとどまらず、各種の生活必需品、食料品の高騰が住民の皆様には大きな影響を与えていることは十分認識している。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の推奨事業が増額され自治体に配分されるとの通知があり、現在、

湯川議員 自治体に配分

されると思われる地方創生臨時交付金の使い道を含めて、令和7年度町独自の生活支援対策を考えているか。

齊藤町長 今年度が始まって3か月しか経って

おらず、今後は国、道の状況を見ながら決定していきたい。

湯川議員 例えばコメ購入補助券や水道料金を一定期間無料にするなど、思い切った施策をスピーディーに進めないか。

齊藤町長 町民の意見も聞きながら施策を打っていく。



7月から値上げされた食品の一部

我が町の宿泊税の取り組みは

湯川議員 我が町の宿泊税に対する今後の考え方は。

齊藤町長 北海道では令和8年度より道税としての宿泊税を導入する方針が示され、最終調整が行われていると認識している。本町としても導入へ向けた検討の必要性はあると考える。

湯川議員 宿泊業者との協議は行われているのか。

齊藤町長 北海道において随時関係者に向けた説明が行われており、町においても、今後並行して協議を進めて行きたいと考えている。

湯川議員 導入したことでのメリット、デメリット

トはどう考えているか。

齊藤町長 メリットは、町民負担で行っている観光振興行政について、安定的な財源の確保・観光PR・交通障害の解消・観光資源の保全などがある。デメリットは、宿泊費負担の上昇による需要への影響・宿泊事業者の事務負担の増加などが考えられる。



町内の宿泊施設の対応はどうか

ひとくちメモ

重点支援地方創世交付金とは…エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し支援を行う事業。効果的と考えられる推奨事業メニューを提示し、実施計画に記載して申請する。

合葬墓

町民の意見を聞いて欲しいが

町長－民間施設との意見交換が先である

齊藤町長 アンケートを実施する考えはないが、本町における町民のニーズも年々増えていると推測している。ただ、ニーズだけで事業を進めると

町外の霊園等へ御遺骨を移転する件数が増えている現状からも、合葬墓が必要か否かを問う町民アンケートを早急を実施するなど、設置に向け前向きに取り組むべき時が来ていると思うが。

佐藤議員 御遺骨にまつわる精神的、経済的負担を次世代にかけたくないとの思いから、合葬墓の設置を求める声はますます高まっている。また近年、合葬墓を設置する自治体は着実に増えてきている。



市民の声を受け平成31年に設置された富良野市の合同墓

ということは難しい。納骨に関しては町内に民間施設があるので、行政がやるべきかを含めて、日頃からそれらの施設とは情報交換、意見交換等を行うべきと認識している。

佐藤議員 富良野市は民間施設と協議の場を設け、円満に事を運んだ一方で、別の自治体では、民間施設が協議の場に着いても設けなかったそうだし、そのことを受け、そもそも協議の場を設けず、合葬墓の設置を判断した自治体もあると聞かす。

齊藤町長 民間施設が拒否したというのは、設置ありきの協議だったかも

佐藤議員 我が町は、この5年間で約75件の墓じまい、うち約35件が他の自治体に御遺骨を移動しており、5年間で約35件の方と縁が切れていると考えて良い。我が町に先祖の御遺骨を埋葬している方は、年に一度くらいは上富良野町にお墓参りに来られて、両親と通った思い出の店に立ち寄ることもあるだろう。関係人口の創出という観点からも合葬墓は必要だと思

齊藤町長 たしかに北海道において墓じまいする方の3分の2は他の自治

体に行ってしまうという統計がある。関係人口ということもあるが、特に札幌近郊で改葬する方が増えている現状も含めて検討を進めたい。

齊藤議員 現在、あらゆる面で物価が高騰しており合葬墓の建設費も例外ではない。富良野市と同じように我が町においても建設費を利用者負担とするならば、後になればなるほど町民の負担が増える。設置に向けての検討を急いで欲しいが。

齊藤町長 単に経済的な一面だけで切り取って早急に設置するという考えは私にはない。宗教や伝統文化との調整は必ず必要だと考えている。



佐藤 大輔 議員

ひとくちメモ
合葬墓とは：複数の遺骨を一つの場所に埋葬するお墓のことです。共同の施設で供養されるため、費用が比較的安価で管理が不要というメリットがあります。一度埋葬すると取り出すことが出来ないの、親族と相談することが重要です。

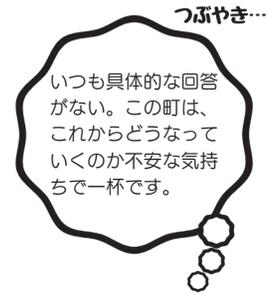
農業
振興

この町の基幹産業の農業はどうなっていくのか

町長一國や道の情勢を見極める

音藤町長 農業従事者の年齢構成は、50歳代以下は60%、60歳代は23%、70歳代が15%となっており、約2割が後継者のいる経営体になっている。農業DXについては、日々技術の革新が進んでいることもあり、現段階では町としては、国などの制度を活用できるようなサポートを進め、そこで見極められない部分を見極めながら独自の支援の検

林議員 町の農業の持続可能性を懸念している。第9次農業振興計画及び農業・農村振興実践プランにおいて、農業従事者の高齢化と担い手不足の現状など今後の農業振興策の可能性について考えを伺う。



農政が目指すべき基本方針と施策

証を進め、新規就農者への支援等については、定期的な状況確認や技術指導や助言・手続等の支援などを行っており、都度対応できるような体制を整えている。特産品振興については、本年度より制度の拡大と上限額の見直しについて取り組んでおり、本町の農業が持続的に行われるよう、情勢を見極め、最善の方策を行うため、これからも検証を進めながら、行政としての支援等を行っていく。



林 敬永 議員

音藤町長 今回の防災計画の見直し等に係る業務は、近年の大規模災害の教訓、防災関係法令の改正等を踏まえ、本地域で想定される大規模災害に対する防災・減災施策な

林議員 近年色々な分野での定年退職自衛官の再雇用促進が注目されている。当町においては、本年度防災計画書の見直しのためのコンサルタント料が計上されているが、この業務に定年退職自衛官を任用して行うことを検討されたのか。また今後、定年退職自衛官の再雇用促進に向けて、具体的な施策を講じていく予定があるのか伺う。

ひとくちメモ
町は、農業分野の目指すべき基本方針とその実現に向けた施策を第9次農業振興計画（R6.4.1）で定め、計画実現のために農業・農村振興実践プラン（R7.4.1）を作成しています。

ど計画的な防災施策の推進を図ることを目的としており、専門的知見と業務に対する高い習熟度を要すると判断したことから定年退職自衛官の任用について検討には至っていない。また、再雇用促進に向けての具体的な施策については、富良野地方自衛隊退職者雇用協議会連合会のもと上富良野援護センターと共に目的を達成するための事業を展開していく。

組織

機構改革の進捗状況は

町長－適宜検討していく

金子議員 副主幹を配置することの成果について検証は。

斉藤町長 一定程度課長職と主査職以下の職員との連絡調整等の役割を担っている。

金子議員 主幹や主査職に対して、直接的な仕事の補佐やアドバイスは行わないのか。

斉藤町長 管理職との調整、意思決定にも関わる助言、データの提供等含め管理職とスタッフとの間の連絡調整も兼ねていると認識している。

金子議員 スタッフ制を継続している事の弊害をどのように捉えているか。

斉藤町長 多くは制度的な要因ではなく、属人的な要因による問題点として指摘されていると推察される。



スタッフ制が執られている上富良野町役場



金子 益三 議員

中でどう回していくかと考えると、基本的にはスタッフ制を採用せざるを得ないと考える。

金子議員 町長自身が考え思い描く形をきちんと示さず、機構改革を職員に指示していくこと自体が問題ではないか。

斉藤町長 組織機構、組織論、組織がどうあるべきかと、その具現化したのが組織機構になり、組織機構を考える上では、いろいろな要素があると思う。

金子議員 今、職員定数が減る中で、定数を増やして、行政サービスが滞らないようにするといったような考えはないか。

斉藤町長 財政的な制約があるので、無制限に増やせば、必要な行政サービスは縮小されていくので、バランスは非常に重要と思う。

金子議員 職員の離職率はどの程度か。また、離職を防ぐための方策はどう考えるか。

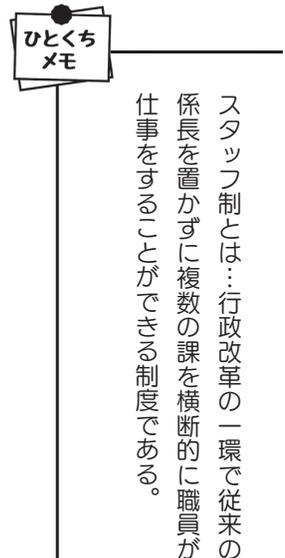
斉藤町長 令和3年度63%、令和4年度53%、令和5年度43%、令和6年度31%である。離職を防ぐ方策は、個々の様々な事情があり、自ら離職を決定されることである。

金子議員 町長は、この数年間の離職率については高くはないという認識か。

斉藤町長 これが殊さら他の市町村、道も含めて高いという認識はない。

金子議員 現在の課や係の配置について、新しい運営方法などの考えはないのか。

斉藤町長 職員構成や事務事業の執行に適した柔軟な体制を整える必要があることから、適宜検討していく。



情報
発信

今後の情報発信の方法は

町長一でできることから取り組んでいきたい

つぶやき…

町の情報を知りたい時どこに聞いたらいいのかわからない。もっとわかりやすくしてほしいと言う町民の声をよく聞くが…



茶谷 朋弘 議員

茶谷議員 新型コロナウイルスが流行時期、町のLINEアカウントで、ワクチン予防接種の申込みができ、とても便利に感じたがその後活用されていない。町民への情報発信や利便性向上に向けて町が今考えている方法は何か。

斉藤町長 近年、一つのスマホアプリの中に様々な機能が統合されたスーパーアプリを活用している町もある。導入について、費用対効果や運用方法等を総合的に考え、検討していきたいと考えている。

茶谷議員 町長の言うコストがかかる部分でなく、コストがかからなくてもできる範囲で、普段行われている防災無線の内容等日々の情報発信にLINEを活用できないか。



中富良野町で導入されているスーパーアプリ「LINE」

茶谷議員 調査・研究、検討と言言葉をよく使われるが、まず今できることから、始めていくことも大事だと思う。

鈴木教育長 安心安全な給食提供を継続していくには大きな課題があると認識している。今年、学校給食の在り方検討委員会を設置し、保護者や学校関係者等からの御意見も踏まえながら議論を進めていき、安心安全で安定した学校給食の在り方について方向性を示したい。

ひとくちメモ

スーパーアプリとは…複数の異なる機能を一つにしたアプリ（LINE等）で育児、健康、防災、相談、ごみの分別等町の様々な情報が簡単に入手できる。近隣の多くの町は導入している。

児童の
健康

「ランドセル症候群」への認識及び対策は

教育長—有効な対策が望まれていることは認識している

鈴木教育長 小学生の通学時において、身体に合わない大きさや重さによる負担から起こる肩等への痛み、また気持ちの落ち込み等の「ランドセル症候群」については全国

荒生議員 1〜3年生が背負うランドセルの重さは平均で約4kg、小学生全体では約5.4kgにもなる。小さな体で3kg以上の荷物を背負い通学すると筋肉痛や腰痛など身体的影響に加え、通学自体が憂うつに感じるなど心にも影響を及ぼす「ランドセル症候群」になってしまおうという指摘がある。当町の教育現場では、どのように認識し、どのような対策を講じているのか伺う。

つぶやき…
国立社会保障人口問題研究所の統計によると、上富良野町の人口は15年後の2040年には、予測値は7200人となっています。



5〜6キロのランドセルを背負い登校する児童

的に課題となっており、約9割のこどもたちがランドセルを重いと感じているという調査結果もあるなど、その有効な対策が望まれていることは認識している。そのため町内の小学校においても児童の身体への負担軽減を図るため、家庭学習で使用する最低限の教科書等のみを持ち帰り、それ

以外は学校へ置いておく「置き勉」を推奨し、またタブレット端末を持ち帰って家庭学習を行うことにより、持ち帰る教科書を減らす取り組みを実施するとともに、通学距離2キロ以上の対象児童に対してはスクールバス乗車による通学を確保するなどの対策を講じている。



荒生 博一 議員

斉藤町長 住民と一体となった賑わい創出についてであるが、町のにぎわいづくりに寄与するイベントとしては、現在、ラベンダーフェスタ、北の大文字、雪まつりといった四季彩イベントなど、町や実行委員会が中心となって開催しているもののほか、町内企業、団体

荒生議員 地域に活気がなくなると、住民の地域への愛着も失われ、人口流出が加速するリスクが生じる。そのためにも、住民とひとつの体となつたお祭りやイベントなどの賑わいの創出のための町長の考えている施策について伺う。

あるいは個人事業者が行う小規模から中規模の飲食、物販、音楽などのイベントが随時開催されている。町の賑わいのさらなる創出のために、そうした既存のイベントの規模拡大や定着化、さらには賑わい創出につながる新たなイベント等について、企画、参入を活性化させるため、商工会や、上富良野産業賑わい協議会などと連携し、イベント等開催に対し支援、推進したいと考えている。

ひとくちメモ

教科書のボリュームは増加を続けており、2006年から15年間で75%もページ数が増加し、カラー化、大型化が進むとともに、紙質も非常に重くなっています。

国際交流

カムローズ市との交流の継続を望むか

町長ー可能であれば継続していきたいが

小林議員 現時点でのカムローズ側との協議の進捗は。

斉藤町長 メールにて市長宛てに今後の友好都市継続の可否について問い合わせられているところであり、現在のところ、返信はない状況。

小林議員 先日カムローズ日本友の会の元副会長と直接話した際の感触は。

斉藤町長 カナダのカムローズ日本友の会はすでに解散しており、現地で活動してもらえない状況が存在しない状況。市役所には日本との交流を担当する部署はなく、市役所は活動する市民団体を手助けする立場なので、これまで行ってきたような活動を継続する上で、向

つぶやき…

3月の予算特別委員会時に大きな議論がなかったが、進捗がなかなか聞かれない。先方との協議内容はどうなっているのだろうか。



小林 啓太 議員



ミラーレイク公園内にある KAMIFURANO Park の表示板

こうに活動する団体がなく、困難な状況である。

小林議員 町内の交流協会もすでに解散している。今後住民側で関係を継続していく為の体制や人材は確保可能か。

斉藤町長 これまで行ってきたような英語教員の招聘や訪問団を組んで向こうに訪れるなどの事業は町が直接間に入ってきている。友好委員会などを通じて裾野が広がっていることは歓迎する。

小林議員 町長としては

可能であるならば関係を継続していきたいという考えか。

斉藤町長 可能であれば昔のように交流は進めていきたいと思っているが、カムローズ側には民間の団体は必須であり、以前精力的に活動していただけでいたミチコ・ラスムセン女史のような方の後継者がいないと難しい。

小林議員 あくまでカムローズ側の回答を待つからこちらの態度を決めるつもりか。

斉藤町長 現時点において、最終的な可否を握っているのはカムローズ側だと考えている。こちらの継続したい意向はすでに伝えてある。

終了を決定した際の議会との確認方法は。

斉藤町長 いずれにしても議決事項ではないが、決定の仕方や進め方は都度協議していきたい。

小林議員 補正予算などがなくても報告するということか。

斉藤町長 定例会や臨時会などの機会に都度最新情報を報告する。

小林議員 最終的な決定はいつまでに行うのか。

斉藤町長 40周年を迎える9月5日を目標にしている。



平成 28 年に表敬した際のメイヤー市長とミチコ女史

ひとくちメモ

ミチコ・ラスムセン女史とは…姉妹都市に係るカムローズ側でのほぼ全ての事業にご尽力された方。その波乱万々な生い立ちや、上富良野との関わりが『郷土をさぐる』34号に綴られており、HPでも読むことができます。

議会の窓



- 5月1日 全員協議会、第4回臨時会
- 13日 厚生文教常任委員会
- 19日 厚生文教常任委員会
- 26日 議会運営委員会
- 6月4日 厚生文教常任委員会
- 5日 総務産建常任委員会
- 6日 議会運営委員会
- 9日 全員協議会、議会広報特別委員会
- 18日 第2回定例会（1日目）
- 19日 第2回定例会（2日目）
- 23日 全員協議会
- 7月4日 議会運営委員会
- 8日 道町村議会議長会全道議員研修会
先進地調査（～9日）
- 10日 議会広報特別委員会
- 15日 全員協議会、第5回臨時会
- 16日 議会懇談会

瑞宝双光章 受章



梨澤 節三さん（88歳）

令和7年5月1日発令
元町議会議員（平成7年～平成19年）

旭日双光章 受章



村上 和子さん（87歳）

令和7年4月29日発令
元町議会議員（平成11年～令和5年）

議会広報特別委員会

委員長	佐藤 大輔
副委員長	井村 悦丈
委員	湯川 千悦子
委員	林 敬永
委員	茶谷 朋弘

編集後記

米の店頭価格が関心事となる中、まもなく新米が流通する。2025年産価格が気になるところだが、生産者と消費者で適正価格に対する認識に開きがあり、農家も消費者同様、肥料・農薬、燃料代など米作りに欠かせない資材が高騰し稲作経営は依然厳しい。今までが安すぎたのであり、農家が再生産できる価格確保にご理解願いたい。

2022年から続く物価上昇は、2025年現在も収束の兆しが見えない。未だ収まらない物価高騰。新型コロナウイルスで停滞していた経済活動が一気に加速したことや、加えてロシアによるウクライナ侵攻による影響もあり拍車をかけ、特に食品や日用品の値上げが目立ち、家計を直撃している。ニュースでは「原材料価格の高騰」「人手不足」などの定型文が繰り返されるが、円安で輸入コストが増加など、それだけではない要因があると言われている。おかげで消費者が身に着けたものは、値上げされた商品と代替品を冷静に比較する視点、買いためにまとめ買いより、必要なものを見極める習慣だと言われている。

（井村 記）